

ミラノ大学 国際シンポジウム

DESIGN + LIFE Interconnessioni

2023年10月29日(日)

13:00 - 16:30 (12:30 開場)

国立新美術館 講堂 (入場無料)

イタリアと日本。1960年代以降、デザインにおいて両国のクリエイティブは互いに惹かれあい、融合し、新たな表現を生み出してきました。

イタリアミラノ大学で2022年10月に開催された国際シンポジウム「ジャパンデザイン・越境のアート」では、イタリアと日本の世代の異なるデザイナーたちによる対話を実施。それぞれのキャリアから培われたデザイン観をはじめ、コロナ禍による生活様式の変化や地球課題を語り合うなかで、さまざまな発見がありました。本イベントはそのスピノフとなります。

参加するデザイナーたちは、自国の文化や環境に深く根ざしながら海外の文化や世界を好奇心旺盛に見つめ前進しています。彼らの仕事は単なるキャリアの成功例ではなく、自分が誰であるかをデザインするという意味で、デザインと人生がひとつになったものだと言えるでしょう。

Introduction 13:15 - 13:30

「わたし」をデザインする。
自分の文化に忠実であること。

Gordon Bruce
ゴードン・ブルース
デザインコンサルタント
Red Dot Design Award 審査員

Session 1 13:30 - 14:30

夢を与える レジェンドたちが
語る DESIGN + LIFE

Giorgetto Giugiaro
ジョルジェット・ジウジアーロ
デザイナー

Makio Hasuike
蓮池 慎郎
デザイナー

Rossella Menegazzo
ロッセッラ・メネガッツォ (司会)
ミラノ大学文化・環境遺産学部 准教授

Session 2 14:45 - 16:00

イタリアと日本 デザインと文化
の国際的なチャレンジ

Michele De Lucchi
ミケーレ・デ・ルッキ
建築家、デザイナー

Toshiyuki Kita
喜多 俊之
プロダクトデザイナー

Setsu & Shinobu Ito
伊藤 節 + 伊藤 志信
デザイナー

Closing 16:00 - 16:30

Gordon Bruce
ゴードン・ブルース
デザインコンサルタント
Red Dot Design Award 審査員

Rossella Menegazzo
ロッセッラ・メネガッツォ
ミラノ大学文化・環境遺産学部 准教授





Gordon Bruce

ゴードン・ブルース
デザインコンサルタント

1947年カナダ生まれ。エリオット・ノイズ・アンド・アソシエイツに勤務後、85年にゴードン・ブルース・デザインを設立。IBM、モービル、GE、サムスン、レノボなど数多くの企業のデザインコンサルタントを務める。91年から94年までアートセンター・カレッジ・オブ・デザインの京都プログラムの副学長。95年から99年までサムスンのイノベティブ・デザイン・ラボ (IDS) でプロダクトデザインのチェアマンを務めた。米国および中国の大学の客員教授として、若い世代へのデザイン教育に尽力している。



Giorgetto Giugiaro

ジョルジェット・ジウジアーロ
デザイナー

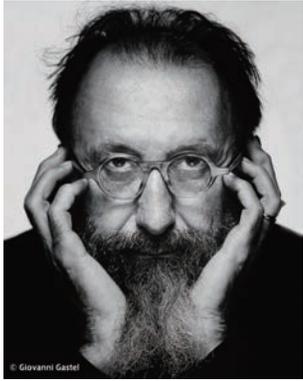
1938年イタリア生まれ。トリノ美術学校で学んだ後、17歳でフィアット・スタイリングセンターに入社。52年ヘルトネ・スタイリングセンターの責任者となる。68年アルド・マントヴァーニとともにイタルデザインを設立し、200以上の自動車デザイン。自動車だけでなく鉄道車両やカメラ、デスクチェアなど、世界中のクライアントのデザインを担当。「英国芸術家・インダストリアルデザイナー協会 (SIAD) シルバーメダル」や「コンパッソ・ドーロ」など受賞多数。99年「世紀のカーデザイナー」の称号を授与された。



Makio Hasuike

蓮池 慎郎
デザイナー

1938年東京生まれ。62年東京藝術大学卒業後、セイコーにデザイナーとして勤務。63年イタリアへ渡り、ロドルフォ・ボネットのオフィスで働く。68年ミラノでMakio Hasuike Designを設立。82年バッグとアクセサリーのブランド「MH WAY」を創業。2016年コンパッソ・ドーロ経歴賞受賞。22年イタリアデザイン協会ADI名誉会員。ミラノ工科大学のマスター課程ストラテジックデザインの設立メンバー。同大学工業デザイン学部、ドムスアカデミー、ラッフェルスインスティテュートで教鞭を執る。



Michele De Lucchi

ミケーレ・デ・ルッキ
建築家、デザイナー

1951年イタリア生まれ。前衛的なデザイナー集団「メンフィス」で活躍。ヨーロッパの有名企業の家具デザインを手がけ、88年から2002年までオリベッティ社のデザイン・ディレクターを務める。イタリア国内外で公的機関、民間企業、美術館や文化施設など多数の建築プロジェクトを実現。2000年イタリア共和国オフィサーに任命される。2008年よりミラノ工科大学正教授、ヴェネツィアのIUAV教授、06年キングストン大学より名誉博士号を授与され、08年同デザイン学部教授を務める。AMDLCIRCLE学際的なスタジオの創設者。



Toshiyuki Kita

喜多 俊之
プロダクトデザイナー

1942年大阪生まれ。69年よりイタリアと日本でデザイン活動始める。家具や家電、ロボット、日用品に至るまで、数多くのヒット製品をデザイン。シンガポール、タイ、中国などで、デザイン活性化の政府顧問を務める。日本各地の伝統工芸・地場産業の活性化、およびクリエイティブ・プロデューサーとして多方面で活躍。国際見本市「Living & Design」ディレクター。大阪芸術大学教授。2011年イタリア「ADI黄金コンパス賞 (国際功労賞)」をはじめ受賞多数。2017年イタリア共和国より「イタリア共和国功労勲章コンメンダトール」を受勲。



Setsu & Shinobu Ito

伊藤 節 + 伊藤 志信
デザイナー

1997年ミラノにデザイン事務所を設立。世界各国でデザイン開発およびデザインコンサルタント業務を行う。伊藤 節 (1964年山口生まれ) は筑波大学大学院修了後、アレクサンドロ・メンディーニ、アンジェロ・マンジャロディの下で働いた後独立。東京大学先端科学技術研究センター特任教授。伊藤 志信 (1966年東京生まれ) は多摩美術大学卒業後、CBSソニー (現ソニーミュージックエンターテイメント)、ソニークリエイティブプロダクツを経てドムスアカデミー修了後独立。多摩美術大学客員教授。ゴールデンコンパス賞やグッドデザイン賞など受賞多数。



Rossella Menegazzo

ロッセッラ・メネガッツォ
ミラノ大学 文化・環境遺産学部 准教授

1973年イタリア生まれ。ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学で日本美術史を学び、博士号を取得。2018、22年にはミラノ大学で日本美術、デザインをテーマとした国際シンポジウムを企画開催。イタリア国内外で日本美術、写真、デザインに関する展覧会や刊行物を手がける。東京大学先端科学技術研究センター先端アートデザインアドバイザー。主な著書に『IRO: The Essence of Color in Japanese Design』、『WA: The Essence of Japanese Design』(いずれも Phaidon)。16年クールジャパン・アンバサダー就任、17年外務大臣表彰受賞。

主催:ミラノ大学 | 共催:国立新美術館 / イタリア文化会館 | 特別助成:公益財団法人 石橋財団 | コーディネーター:ロッセッラ・メネガッツォ (ミラノ大学 准教授)
後援:イタリア大使館 / ミラノ大学 文化・環境遺産学部 現代アジア研究センター / 東京大学 先端科学技術研究センター 先端アートデザイン研究室 | パートナー:株式会社アクシス

